

Biodiversity Report in Sapporo-city

# 札幌市 生物多様性レポート

〈平成27年度〉

平成28年(2016年3月)

## 札幌市



### 目次

生物多様性さっぽろビジョンの概要	2
コラム～生物多様性の基礎知識～	3
札幌市の取組	4
企業・団体の取組	8
生物多様性さっぽろビジョンの進行管理	9
札幌市の取組一覧	10

札幌市は、平成24年度に策定した「生物多様性さっぽろビジョン」に基づき、今、温暖化と並ぶ深刻な地球環境問題となっている生物多様性を守るため、さまざまな取組を進めています。

札幌市生物多様性レポートでは、平成26年度の取組について報告します。

## 生物多様性さっぽろビジョンの概要

札幌市では、生物多様性に関する取組の方向性を示す長期的な指針として「生物多様性さっぽろビジョン」を策定し、体系的・総合的な施策の推進を図っています。

札幌市は、190万人を擁する一大消費地でありながら、南西部には山地が広がるなど豊かな自然が残っている大都市です。

ビジョンに掲げる「北の生き物と人が輝くまち さっぽろ」の理念のもと、市民やNPO、事業者などのあらゆる主体とともに、生物多様性の保全のため、札幌市の自然環境を保全するとともに、市民一人ひとりのライフスタイルの見直しを進めていきます。

### 「生物多様性さっぽろビジョン」の体系図

理念

北の生き物と人が輝くまち さっぽろ

目標

豊かな生物多様性と共生する都市づくり

生物多様性に配慮したライフスタイルの実践

伝統資源の継承及び創造

推進する施策

土台形成 意識/参加/連携

施策の柱1

理解する

生物多様性に対する理解を深めます

- ① 自然とのふれあいの場の充実
- ② 環境教育・普及啓発
- ③ 調査分析・情報共有
- ④ 生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する技術の向上

施策の柱2

協働する

生物多様性の保全に皆で取り組みます

- ① 活動主体の育成、支援
- ② 連携の仕組みづくり

実践行動 保全/持続可能な利用

施策の柱3

継承する

生物多様性を守り育て、将来に伝えます

- ① 生息・生育環境の保全と拡大
- ② 野生生物をめぐるトラブルの軽減
- ③ 環境負荷の低減
- ④ 歴史的文化的資産の継承

施策の柱4

活用する

生物多様性の持続可能な利用を進めます

- ① 自然を活かすライフスタイルの推進
- ② 環境に配慮した消費行動の推進
- ③ 持続可能な社会経済活動への活用



札幌市の鳥は、  
わたくしカッコウなのです。  
生物多様性について  
わたくしが解説するッコー



札幌市の生物多様性  
PRキャラクター  
カッコウ先生

# 生物多様性の基礎知識

## 生物多様性とは

“生き物どうしのつながり”を表す言葉です。

地球上には、約175万種、未知のものも含めると3,000万種とも推定される生き物が存在しています。すべての生き物は、食べたり食べられたり、競争したり、助け合ったりして、互いに関係しながら複雑につながりあって生きています。このように、生物多様性とは、様々な生き物が存在し、それぞれがつながり合っている状態のことをいいます。

## 生態系サービス

私たち人間の命と暮らしは、  
生物多様性の恵み(生態系サービス)に支えられています。

### すべての生命の基盤です

植物が酸素をつくり、微生物が豊かな土壌をつくるなど、多くの生き物の営みによって、生命の生存環境が支えられています。



### 生活の糧です

多様な生き物は、衣服・食物・木材・燃料・医薬品など生活に必要な資源として、衣・食・住を支えています。



### 豊かな文化の根源です

地域の多様な生態系や生き物は、精神的豊かさ、自然観などの形成などに寄与し、祭り・宗教・郷土料理など、地域の自然に根づいた文化の土台となっています。



### 生活の安全を支えます

豊かな森林生態系は水を蓄えたり、二酸化炭素を吸収するほか、土砂崩れの防止や防風などの機能を持っています。

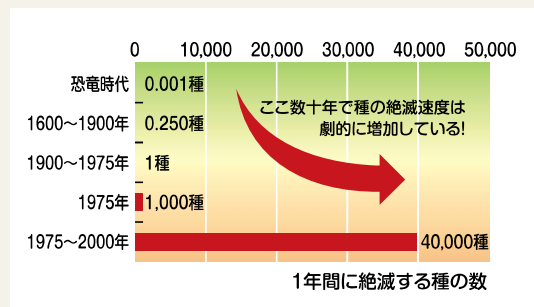


## 生物多様性の危機

今、多くの生き物が絶滅の危機にあります。

生物多様性は、主に人間活動の影響により、4つの危機にさらされ、急速に失われつつあります。現在、1年間に4万種ともいわれるスピードで生き物の絶滅が進んでおり、将来的には人類も存亡の危機に直面することが懸念されます。

- **第1の危機：開発や乱獲による危機**  
開発や乱獲、過剰な採取によって、多くの生物が絶滅の危機に直面しています。
- **第2の危機：自然に対する働きかけの減少による危機**  
人工林や農地の放置等により、里地里山に暮らす動植物が絶滅の危機にあります。
- **第3の危機：外来種や化学物質の持ち込みによる危機**  
外来種が在来種を捕食したり、生息・生育場所を奪ったりしています。化学物質の中には動植物への毒性をもつものがあります。
- **第4の危機：温暖化など地球環境の変化による危機**  
平均気温が1.5～2.5℃上がると、動植物の20～30%は絶滅のリスクが高まるといわれています。



## 生物多様性を守るには

できることから始めましょう。

自然環境や札幌に生息・生育する動植物を守るだけでなく、省エネルギー・節電などの地球温暖化対策や、地産地消やごみ減量など、環境に配慮した行動は生物多様性の保全につながります。

生物多様性を守るために今すぐできる行動をまとめた「今、できることから始めよう!! ～生物多様性さっぽろ実践ハンドブック～」をもとに、今、できることから始めましょう。



## 札幌市の取組

札幌市では、「生物多様性さっぽろビジョン」に基づき、生物多様性に対する理解を深め保全に向けた行動の実践を促進するため、さまざまな取組を進めています。

### 生物多様性の保全

自然環境の保全とライフスタイルの見直しを進めます。

### 生物多様性推進事業

環境局 環境共生推進担当課 Tel.011-211-2879

#### まちなか生き物活動



「まちなか生き物活動」は、生物多様性に対する市民の関心と理解を深めるとともに、多様な主体の行動や連携の促進を図ることを目的とし、まちなかで生物多様性の保全に関する活動を行うもので、NPO団体や企業などから広く企画提案を募集し、優秀な企画提案者に対し業務を委託し、実施しました。

平成26年度は、「コウモリが飛ぶ！みどり豊かなさっぽろのまち～大人のための生物多様性講座～」と「ミツバチが教えてくれる生き物とのつながりプロジェクト」を実施しました。

「コウモリが飛ぶ！みどり豊かなさっぽろのまち～大人のための生物多様性講座～」では、51名の参加者が、札幌のまちなかに生息するコウモリの観察を行いました。また、「ミツバチが教えてくれる生き物とのつながりプロジェクト」では、のべ78名がミツバチ観察や採蜜体験、料理教室等に参加したほか、紙芝居を作成しました。



コウモリ観察会



はちみつを使った料理教室

<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/machinaka.html>

#### 生物多様性さっぽろ絵本コンテスト



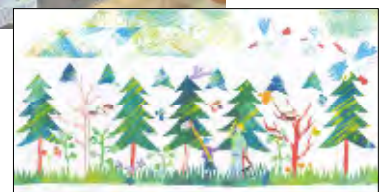
札幌市では、平成26年6月から8月にかけて、生物多様性をより身近に感じ、将来に引き継いでいくことの大切さを伝えるため、子ども向け絵本作品を募集する「生物多様性さっぽろ絵本コンテスト」を実施しました。

審査の結果、応募のあった20作品のうち、最優秀賞1点、優秀賞5点、審査員特別賞1点が選ばれ、最優秀賞作品「アケアケの森」については、絵本を作成し、市内の小学校や図書館などに配架しました。

また、紀伊國屋書店札幌本店や札幌エルプラザなどで、「生物多様性さっぽろ絵本コンテスト作品展」を開催し、多くの方に入賞作品を鑑賞していただきました。



作品展の様子  
(札幌エルプラザ)



最優秀賞：アケアケの森

<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/ehon.html>

## 生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク



札幌市では、平成25年10月、札幌市内の環境関連施設による「生物多様性さっぽろ活動拠点ネットワーク」を立ち上げました。

このネットワークは、生物多様性保全の活動拠点として位置付ける16施設（平成28年1月現在）及び札幌市で構成し、拠点間の情報共有や連携・協働を進め、生物多様性に対する市民の理解促進と市内全体の生物多様性保全活動の活性化を図っています。

平成26年度は、平成26年7月から平成27年1月にかけて、13カ所の活動拠点をめぐる「いきものつながりスタンプラリー」を開催し、212名が参加しました。

<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/network.html>



### ●活動拠点

札幌市円山動物園  
札幌市博物館活動センター  
札幌市環境プラザ  
札幌市百合が原緑のセンター  
サッポロさとらんど  
サンピアザ水族館

北海道博物館  
札幌市豊平公園緑のセンター  
札幌市平岡樹芸センター  
札幌市豊平川さけ科学館  
札幌市青少年山の家  
札幌市滝野自然学園

札幌市北方自然教育園  
サッポロピリカコタン  
札幌市定山溪自然の村  
札幌市動物管理センター

## こんちゅうウォッチ

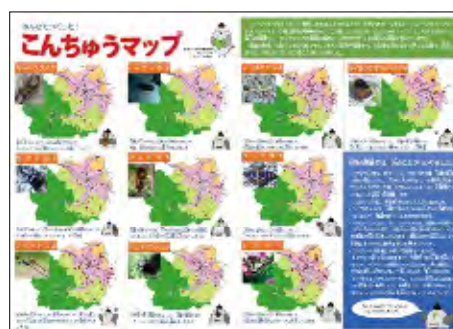


札幌市では、平成26年7月19日～8月31日にかけて、さっぽろ生き物さがしプロジェクト「こんちゅうウォッチ」を行いました。「こんちゅうウォッチ」は、ミヤマクワガタやノシメトンボなど10種類の昆虫を中心に、札幌市内の昆虫の生息状況を調べるもので、参加した皆さんには、確認した昆虫を見つけた場所や写真と一緒に報告していただきました。調査には、122チーム577名が参加し、述べ3,638地点で436種類の昆虫の報告がありました。

皆さんからの報告をもとに、10種類の昆虫が札幌市内のどこで見つかったかを「こんちゅうマップ」としてまとめたほか、「こんちゅうウォッチ表彰式」を行い、チーム別得点ランキング第1位とチーム別参加者ランキング第1位のチームを表彰しました。

また、「こんちゅうウォッチ」の結果をもとに作成した「こんちゅうマップ」や参加者が撮った昆虫写真を展示する「こんちゅうウォッチ展」を開催しました。

[http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/konchu\\_watch.html](http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/konchu_watch.html)





## 自然環境 の保全

札幌の自然環境や札幌に生息・生育する生き物を守ります。

### 地域住民による野生生物保全事業

手稲区 維持管理課 Tel.011-681-4011



専門家による自然観察会や作業指導を通して、自生植物の魅力を知っていただきながら、星置緑地、富丘西公園、稲穂ひだまり公園に自生するミズバショウ、スズラン、カタクリなどを、地域住民の手により保全する活動を推進しました。

<http://www.city.sapporo.jp/teine/dobokubu/kouenryokuka/hozennkatudou.html>



## 自然体験

自然や生き物に対する関心を深めることは、生物多様性への理解を促します。

### 月寒川にぎわい川まつり

白石区 地域振興課 Tel.011-861-2422



子どもたちを中心とした地域の住民が、地域の自然や環境について考えるきっかけとなるよう、河川環境専門家の指導のもと、月寒川に生息する動植物の観察体験を実施。

また、水車などを使った発電実験や、カヌー・チューブ乗りなど、子どもが楽しめるプログラムも実施しました。



## 環境教育

自然や生き物について知ることは、保全の取組を進める第一歩です。

### 昆虫採集会

観光文化局 市民文化課 Tel.011-211-2261



博物館活動センターでは、昆虫の若手研究者を講師にむかえ、小学校4年生から中学生（小学生は保護者同伴）を対象に定山溪の百松沢林道で昆虫採集を実施。その後、博物館活動センターに戻り、自分が採集した昆虫をプロの研究者と同じ方法で標本にしました。図鑑を使って昆虫の名前の調べ方も学びました。



## 地産地消

農地の生態系の保全や、輸送や生産エネルギーの削減につながります。

### きよたマルシェ

清田区 地域振興課 Tel.011-889-2024



地産地消の推進や食による“きよたブランド”づくりのために、清田区や近郊の農家による軽トラでの農産物販売や、清田特産のほうれん草(ポーラスター)等を使った軽食やお菓子の販売を行いました。

また、「札幌」の名のつく伝統野菜(サッポロナンバン、サッポロモドリなど)や市内他地域の農産物のPRも行いました。

[http://www.city.sapporo.jp/kiyota/chiiki-shinko/kumin\\_kaigi/marche.html](http://www.city.sapporo.jp/kiyota/chiiki-shinko/kumin_kaigi/marche.html)



## ごみ減量

生態系サービスの無駄遣いをなくし、有効利用を進める大切な取組です。

### スリムシティさっぽろ計画の推進

環境局 企画課 Tel.011-211-2912



「スリムシティさっぽろ計画(改定版)※」に基づき、環境負荷低減に向けた各種ごみ減量施策を実施しました。

※札幌市の一般廃棄物処理基本計画のこと。ごみに関する方針、目標、施策などを示している。



〈実施例〉

#### ●ごみ減量キャンペーン

「生ごみの減量」と「紙類・容器包装プラスチックの適正排出」に重点を置いた集中的な普及啓発キャンペーンを実施。

【主な取組：ポスターの掲出、CM放映、DVD制作、商業施設での啓発イベントなど】

#### ●さっぽろクリーンミーティング

地域に向けて、具体的なごみ減量やリサイクルの取組を分かりやすく伝える出前講座を実施。

【平成26年度 開催回数：203回、参加人数：11,234人】



## 省エネルギー

温暖化対策は地球上の生き物の生息・生育環境を守ることに繋がります。

### 木質バイオ燃料普及促進事業

環境局 エコエネルギー普及推進課 Tel.011-211-2872



地球温暖化対策として、再生可能エネルギーのひとつである間伐材※などの木材を原料とするペレットなど木質バイオマス燃料の利用拡大に取り組んでおり、ペレットストーブを導入する市民への補助や、ペレット燃料購入者へのさっぽろ地域ポイント(まちのわ)の発行をしています。また、展示会を実施したほか、市有施設にペレットストーブ・ボイラーを導入しました。

<http://www.city.sapporo.jp/kankyo/energy/shokai/biomass.html>

※間伐材とは、森林の成長の過程で過密となった木の一部を伐採(間伐)したことで発生する木材を間伐材といいます。間伐により樹木の成長を促進し健全な森林を作るほか、多様な動植物の生育・生息が可能となり、生物多様性の保全に寄与するなどの効果があります。





## 企業・団体の取組

札幌市には生物多様性を守るための取組を行っている企業・団体があります。ここでは、生物多様性の保全に取り組む企業・団体の取組事例を紹介します。

### 企業

#### 株式会社アミノアップ化学

<http://www.aminoup.co.jp/>



アミノアップ社屋全景

平成23年に完成した新社屋「エコハウス棟」では、雪冷房や自然採光など約70の環境技術を採用しました。CO<sub>2</sub>の50%削減という高い環境負荷低減を目標とし、階段の利用やエコドライブなど、社員一人ひとりが環境保全に取り組んでいます。また、敷地内にリスやキタキツネなどの小動物が自由に移動できるトンネルを設置して観測を行ったり、エゾエノキをはじめとした在来樹種を植栽したりするなど、周辺環境の特性に基づいた生物環境の保全と創出に尽力しています。

#### 生活協同組合コープさっぽろ

<http://www.coop-sapporo.or.jp/>



第8回コープの森植樹祭

行政や消費者団体と連携してレジ袋の有料化に取り組み、レジ袋1枚の辞退につき0.5円を積み立てる「未来の森づくり基金」を平成20年に設立しました。現在までに、道内14カ所で植樹・育樹活動をしています。平成24年から、道民の森(当別町)内「Fの森」で、約7haの敷地に多様な樹種の苗木を植え、市民と研究者がともに樹高の推移や雪害、動物の食害などを調査し、森へと成長していく姿を見守る「森づくりワークショップ」活動を続けています。

### 団体

#### 北海道希少生物調査会



シロマダラ



コウモリ



自然環境調査員、研究者らでグループを構成し、幻のヘビと呼ばれる「シロマダラ」の保護や、円山動物園との協働事業によるコウモリの研究を中心に、道内に生息する希少な生物の生態を調査しています。野生生物との共生に向けた課題解決への取組や、保全活動を担う人材育成にも力を入れており、夏場は毎週末、調査に出かけ、市民参加型のイベントも実施。市民が生き物に興味を持ち、自然と関わるきっかけの場を提供しています。

#### 札幌ワイルドサーモンプロジェクト

<http://www.sapporo-wild-salmon-project.com/>



産卵場造成作業

看板設置

約35年前の「カムバックサーモン運動」によって、豊平川に復活したサケ。現在はその7割が自然に産卵する野生魚です。そのサケたちの野性味をさらに向上させるため、自然産卵したサケだけで豊平川のサケが維持されることを目標に、放流を減らし、豊平川生まれのサケを優先的に守るプロジェクトを進めています。帰ってくるサケの目標値を決めた上で放流数をコントロールする「順応管理方式」を採用し、産卵床調査や市民参加型のモニタリングなどを実施しています。



# 生物多様性さっぽろビジョンの進行管理

生物多様性さっぽろビジョン(P2参照)では、推進する施策として「理解する」、「協働する」、「継承する」及び「活用する」の4つの柱を立てており、柱ごとに成果指標を定めて進行管理を行っています。

## 指標及び進捗状況

施策の柱	指標	基準値 (平成23年度)	平成25年度	平成26年度	目標値 (平成32年度)
理解する	生物多様性の理解度 (意味も知っている人の割合)	33.1%	28.8%	36.6%	60%
協働する	生物多様性保全活動に参加したり、取り組んでいる 市民・事業者の割合	市民: 5.6% 事業者: 40.4%	市民: 5.1% 事業者: 44.4%	市民: — 事業者: 64.3%	市民: 10% 事業者: 60%※1
継承する	主な生息・生育地における 指標種の生息状況※2	—	—	—	生息し続けていること、 又は増えていること
活用する	自然と積極的に 触れ合っている市民の割合	24.2%	19.5%	—	35%
	市民の地産地消や 環境配慮商品の利用促進	地産地消: 65.7% 環境配慮商品: 27.4%	地産地消: 59.3% 環境配慮商品: 25.0%	—	地産地消: 75% 環境配慮商品: 50%
	事業者の原材料調達時の 配慮の促進	30.0%	57.5%	69.4%	50%

※1 「生物多様性保全活動に取り組んでいる事業者の割合」(協働する)については平成27年度の目標値。

※2 「主な生息・生育地における指標種の生息状況」(継承する)については、今後、指標種を選定し、モニタリング調査により生息状況を把握する予定。

## 評価と今後の取組

平成26年度は、新しく「理解する」取組として、生物多様性をテーマとした子ども向け絵本作品を募集する絵本コンテストを開催したり、札幌市内の動物園や水族館等をめぐるスタンプラリーを実施するなど、生物多様性の普及啓発に努めました。また、「協働する」取組として、市民参加型の昆虫一斉調査や、自生植物の保全活動などを行い、子どもから大人まで多くの市民が参加しました。

「継承する」取組としては、地域住民が、地域の自然や環境について考えるきっかけとなる地域型の啓発イベントを実施したり、植樹やエコドライブの推進等により、生物多様性の持続可能な利用を目指しました。また、「活用する」取組として、省エネルギーやごみ減量、地産地消など、生物多様性に配慮したライフスタイルを推進するため、各種啓発イベントを実施しました。

成果指標については、市民及び企業意識アンケートを行った結果、「生物多様性の理解度」(理解する)、「生物多様性の保全活動に取り組んでいる事業者の割合」(協働する)及び「事業者の原材料調達時の配慮の割合」(活用する)は、平成25年度に比べ上昇し、「事業者の原材料調達時の配慮の割合」(活用する)については、平成25年度に引き続き、目標値である50%を超えました。

今後も、生物多様性の理解度の向上と市民や事業者の行動の促進のため、引き続き、普及啓発や市民参加型の取組の強化・充実を図るとともに、生物多様性をよりわかりやすく伝える工夫や関心の低い層への働きかけを行っていきます。

# 札幌市生物多様性レポート

## 札幌市の取組一覧

P4~7で紹介した事例以外にも札幌市では生物多様性の保全に向けてさまざまな取組を行っています。

	事業名	概要	4つの施策の柱	担当部署
自然環境の保全	特別緑地保全地区取得整備事業	良好な都市環境の形成を図るため、都市緑地法に基づく特別緑地保全地区として都市計画決定することにより、市街地に残る樹林地などを現状凍結的に保全。 <a href="http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/hozen/hozenchiku.html">http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/hozen/hozenchiku.html</a>	理解 協働 継承 活用	環境局 みどりの推進課
	都市環境林取得整備事業	一般民有林のうち、特に市街化調整区域における開発等によって保全に支障をきたす緑地等を取得（公有化）し、森林の保全を実施。 <a href="http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/hozen/toshikankyou/toshikankyou.html">http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/hozen/toshikankyou/toshikankyou.html</a>	理解 協働 継承 活用	環境局 みどりの推進課
	市民の森事業	市街地を取り巻く一般民有林を自然のふれあいの場として市民に開放するとともに、所有者の協力を得ながら当該森林の整備に努め、将来にわたり良好な森林として保全を実施。 <a href="http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/shizen/shiminnomori/">http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/shizen/shiminnomori/</a>	理解 協働 継承 活用	環境局 みどりの推進課
	さっぽろふるさとの森づくり植樹祭&育樹祭	市民とともに進める緑豊かなまちづくりの一環として「茨戸川緑地（北区）」で開催。約1,400名の参加者のもとで、10,000本の苗木を植栽し、緑のボリュームアップに取り組みとともに、市民が愛着を感じる森づくりを継続的に推進。 <a href="http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/machi/hanamidori/turumori/#k1">http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/machi/hanamidori/turumori/#k1</a>	理解 協働 継承 活用	環境局 みどりの推進課
	森林ボランティア	「都市環境林」などにおいて、草刈、間伐、枝打ち等、市民による積極的な森林保全活動を実施。資機材の提供・技術指導等、森林ボランティアとして登録している16団体の活動を支援。 <a href="http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/volunteer/">http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/volunteer/</a>	理解 協働 継承 活用	環境局 みどりの推進課
	市民メモリアル植樹園	市民とともに進める緑豊かなまちづくりの一環として、より一層の親しみや愛情を持って森の形成を図るため、茨戸川緑地にて、結婚や子どもの誕生等の慶事にあわせ、市民が記念樹（苗木）を植栽。（参加者126名、苗木107本を植栽） <a href="http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/machi/hanamidori/turumori/#k3">http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/machi/hanamidori/turumori/#k3</a>	理解 協働 継承 活用	環境局 みどりの推進課
	札幌水源の森づくり	札幌市の貴重な水源である定山深国有林の森林再生及び機能の維持・向上を図るとともに、市民と森林とのかかわりを深めること等を目的として、林野庁北海道森林管理局と共催で、市民参加のもとバイオブロック苗木（カニネッコ）を300個作成し、定山深国有林への植樹を実施。 <a href="http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/machi/machi.html">http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/machi/machi.html</a>	理解 協働 継承 活用	環境局 みどりの推進課
	小金湯さくらの森（植樹祭）	「地域が核となって育む札幌のさくらの名所」を目指し、募金活動に参加した市民、札幌商工会議所、地域住民等の関係者が、現在、整備を進めている都市緑地「小金湯さくらの森」に集い、約260本の桜を植樹。	理解 協働 継承 活用	環境局 みどりの管理課
	第39回企画展「札幌の緑地の植物、20年でどう変わった？～市内3か所での調査から～」展	博物館活動センターにて、市街地の中の緑地における植物の種多様性や、外来種の侵入の度合いについて、実物標本とともに展示解説した。（札幌市立大学院生による企画）	理解 協働 継承 活用	観光文化局 市民文化課
	特定外来生物（アライグマ）の対応	外来生物法に基づく「北海道アライグマ防除実施計画」の一環として策定した「札幌市防除実施計画」に基づき、「アライグマ捕獲処理業務」を専門業者に委託し適正な生態系の保全に努めた。	理解 協働 継承 活用	環境局 みどりの推進課
	野生鳥獣（ヒグマ）の対応	市内においてヒグマが出没した際に、関係機関と連携を図り、出没状況に応じた対応・対策を実施。また、市民に対しヒグマの生態等の講習会を行い、人身事故を未然に防ぐための普及啓発を実施。 <a href="http://www.city.sapporo.jp/kurashi/animal/choju/kuma/">http://www.city.sapporo.jp/kurashi/animal/choju/kuma/</a>	理解 協働 継承 活用	環境局 みどりの推進課
	野生鳥獣（エゾシカ）の対応	市街地に出没したエゾシカによる市民生活への被害を防止するための初動対応を関係機関等と連携を図り実施。 <a href="http://www.city.sapporo.jp/kurashi/animal/choju/shika/">http://www.city.sapporo.jp/kurashi/animal/choju/shika/</a>	理解 協働 継承 活用	環境局 みどりの推進課
	野生鳥獣（ヒグマ、エゾシカを除く）の対応	「北海道環境生活部の事務処理の特例に関する条例（第1条による北海道からの権限移譲により、11種の野生鳥獣について鳥獣保護法に基づく「有害鳥獣駆除許可事務」を行い、市民と野生鳥獣とのトラブルの軽減、適正な保護に努めた。 <a href="http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/top/karasu/">http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/top/karasu/</a>	理解 協働 継承 活用	環境局 みどりの推進課
	種の保存事業	円山動物園において、生物多様性を守り育て、将来に伝えていくため、下記の事業を実施。 ●ホッキョクグマ等絶滅危惧種の園内繁殖 ●他動物園との動物の貸借 ●絶滅危惧種における説明看板の掲示 <a href="http://www.city.sapporo.jp/zoo/">http://www.city.sapporo.jp/zoo/</a>	理解 協働 継承 活用	環境局 飼育展示課
	河川環境推進会議の開催	よりよい河川環境を保全・創出するため、河川環境推進会議を開催することで、「札幌市河川環境指針」の進捗状況を確認し、札幌の自然環境を考えた川づくりが行われているかを検証。 <a href="http://www.city.sapporo.jp/kensetsu/kasen/kankyouushishin/suisinkaigi.html">http://www.city.sapporo.jp/kensetsu/kasen/kankyouushishin/suisinkaigi.html</a>	理解 協働 継承 活用	建設局 河川事業課
	多自然川づくり	治水を目的とした河川改修にあたって良好な水空間を円滑かつ積極的に形成するため、河川が本来有している生物の良好な生息環境に配慮し、あわせて美しい自然環境を保全または創出する「多自然川づくり」を実施。	理解 協働 継承 活用	建設局 河川事業課
	河川水環境調査	下水処理水が河川環境へ与える影響を把握するため、各河川の環境基準達成に必要な、各水再生プラザの放流水質を調査。また、水再生プラザ上流・下流での付着汚濁・底生動物の生息状況を調査し、生態系に与える影響を評価。	理解 協働 継承 活用	建設局 処理施設課
	下水処理の高度化による水質保全とせせらぎ回復	清らかな水環境の保全と創出のため、放流先河川の水質状況に応じて高度処理を導入しており、創成川水再生プラザの高度処理水の一部については、安春川等へ送水することで、川のせせらぎ回復を継続して実施。 <a href="http://www.city.sapporo.jp/gesui/01yakuwari/03_genkyo05.html">http://www.city.sapporo.jp/gesui/01yakuwari/03_genkyo05.html</a> <a href="http://www.city.sapporo.jp/gesui/01yakuwari/03_genkyo06.html">http://www.city.sapporo.jp/gesui/01yakuwari/03_genkyo06.html</a>	理解 協働 継承 活用	建設局 下水道計画課
	下水処理施設の適切な運転管理	河川の環境基準達成のため、下水処理施設の適切な運転管理により放流水質の改善を継続して実施。 <a href="http://www.city.sapporo.jp/gesui/01yakuwari/03_genkyo10.html">http://www.city.sapporo.jp/gesui/01yakuwari/03_genkyo10.html</a>	理解 協働 継承 活用	建設局 処理施設課
	琴似発寒川への稚魚放流事業	地域の身近な川について理解を深め自然に親しむため、各連合町内会が主体となり、西区内の琴似発寒川及び左股川6会場でヤマメの稚魚を放流。（参加者1,820人、29,000匹放流）また、10月には成長して遡上してきたサクラマスを観望会を実施。（参加者小学生20名）	理解 協働 継承 活用	西区 地域振興課
サケの遡上親魚捕獲及び産卵床調査	豊平川さけ科学館において、札幌市内の河川の定期調査を行い、捕獲（産卵）場所・体長・採卵・産卵床数を記録し、遡上状況を把握することにより、産卵環境の把握に努め、市民へ情報を提供。 <a href="http://www.sapporo-park.or.jp/sake/">http://www.sapporo-park.or.jp/sake/</a>	理解 協働 継承 活用	環境局 みどりの管理課	
川の美化事業	琴似発寒川と左股川の湖畔約12kmにおいて、各連合町内会や地元企業・団体等の有志により清掃活動を実施。（参加者1,960名）	理解 協働 継承 活用	西区 地域振興課	
白石区まち美化プログラム	ボランティアによる、区内道路の清掃活動等の美化活動を支援し、環境美化に対する市民意識の高揚を図るとともに、市民と行政との協働による環境美化活動を推進。	理解 協働 継承 活用	白石区 地域振興課	
アダプト・プログラム	地域団体や企業などによる、道路や公園などの自主的な環境美化活動に対し、行政がその活動を支援。 【西区（39団体参加）】 <a href="http://www.city.sapporo.jp/nishi/machizukuri/adopt/adopt_pg.html">http://www.city.sapporo.jp/nishi/machizukuri/adopt/adopt_pg.html</a> 【清田区（15団体参加）】 <a href="http://www.city.sapporo.jp/kiyota/chiiki-shinko/adopt.html">http://www.city.sapporo.jp/kiyota/chiiki-shinko/adopt.html</a>	理解 協働 継承 活用	西区 地域振興課 清田区 地域振興課	
さっぽろ環境賞	札幌の豊かな環境の保全に貢献する個人、企業、団体を顕彰することにより、市民、事業者等の環境保全に関する意識の向上及び環境配慮活動のさらなる推進を図り、世界に誇れる環境都市「環境首都・札幌」の推進に資することを目的に実施。平成26年度は、「生物多様性保全部門」を新設。（各部門合計23件の応募の中から、9件を顕彰） <a href="http://www.city.sapporo.jp/kankyo/award/">http://www.city.sapporo.jp/kankyo/award/</a>	理解 協働 継承 活用	環境局 環境共生推進担当課	
環境影響評価事業	法及び市条例に基づく環境アセスメント手続の実施により、大規模開発等による自然環境への影響について未然に回避・低減等を図り、生態系の保全など、生物多様性の保全に寄与。 <a href="http://www.city.sapporo.jp/kankyo/assessment/">http://www.city.sapporo.jp/kankyo/assessment/</a>	理解 協働 継承 活用	環境局 環境共生推進担当課	
自然体験	札幌ふれあいの森における自然観察会	札幌ふれあいの森の中を自然観察案内人と一緒に歩いて、森の仕組みやおすすめのポイントなどを学ぶ「自然観察会」を実施。 <a href="http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/shizen/shirahatayama/hureainomori/syousai1.html">http://www.city.sapporo.jp/ryokuka/midori/shizen/shirahatayama/hureainomori/syousai1.html</a>	理解 協働 継承 活用	環境局 みどりの管理課
	白旗山自然探検隊	清田区のシンボル「白旗山」において、自然に詳しい案内人から植物・虫・鳥などの特徴や生態について説明を受けながら散策用歩道歩き、自然への理解を深めることを目的として実施。 <a href="http://www.city.sapporo.jp/kiyota/chiiki-shinko/shirahatayama/tankentai/tankentai.html">http://www.city.sapporo.jp/kiyota/chiiki-shinko/shirahatayama/tankentai/tankentai.html</a>	理解 協働 継承 活用	清田区 地域振興課
	水生生物観察会の支援	市民が河川に関心をもち水環境保全の大切さについての理解を深めるために、水生生物などの自然観察会への市議員の派遣や、調査用品の貸出等の支援を実施。自然観察会の支援を通じて、水辺環境の保全と活用に関する市民意識の啓発に努めた。【環境対策課（8回、参加者1,229名）】 <a href="http://www.city.sapporo.jp/kankyo/mizu_kankyo/jigyou/">http://www.city.sapporo.jp/kankyo/mizu_kankyo/jigyou/</a> 【河川事業課（7回、参加児童487名）】 <a href="http://www.city.sapporo.jp/kensetsu/kasen/seibutsukansatsukai.html">http://www.city.sapporo.jp/kensetsu/kasen/seibutsukansatsukai.html</a>	理解 協働 継承 活用	環境局 環境対策課 建設局 河川事業課
	さかなウォッチングの実施	豊平川さけ科学館において、北の沢川・琴似発寒川・星置川において、たも網を使用して、淡水魚等の水辺の生物を捕獲するとともに、それぞれの種・生態・河川環境等を解説し、普及啓発を実施。 <a href="http://www.sapporo-park.or.jp/sake/">http://www.sapporo-park.or.jp/sake/</a>	理解 協働 継承 活用	環境局 みどりの管理課
	サケ観察会の実施	豊平川さけ科学館において、豊平川・琴似発寒川・星置川において、市民を対象にサケ観察会を実施。遡上するサケやサクラマス等の生態や河川環境等を解説し、普及啓発を図った。 <a href="http://www.sapporo-park.or.jp/sake/">http://www.sapporo-park.or.jp/sake/</a>	理解 協働 継承 活用	環境局 みどりの管理課



	事業名	概要	4つの施策の柱	担当部署
自然体験	ホテル観賞事業	ホテル育成のための環境整備や鑑賞会を行うことにより、区民に自然環境の保護・保全について関心を持ってもらうため、NPO法人「札幌清田ホテルの会」の協力のもと、ホテル幼虫放流式及びホテル観賞会を開催。(8日間、参加者4,198名) http://www.city.sapporo.jp/kiyota/chiiki-shinko/hotaru.html	理解 協働 継承 活用	清田区 地域振興課
	あしりべつ川体験塾	「あしりべつ川」を教材とし、小学生を対象に、自然の大切さ、生命の尊さを実感してもらうべく、NPO法人「あしりべつ川」など、ボランティア団体の協力のもと、体験型環境教育イベントとして実施。(参加者50名) http://www.city.sapporo.jp/kiyota/chiiki-shinko/ashiribetsugawa/ashiribetsugawa.html	理解 協働 継承 活用	清田区 地域振興課
	小学生の夢・10年後の手稲のまち事業	子どものまちづくりへの関心を高めるため、小学4年生から10年後の手稲の絵を募集し、アイデア作品を受賞した児童を対象に、植物・水生生物観察を含む手稲タンケツナーを実施。(参加者33名) http://www.city.sapporo.jp/teine/dekigoto/2014/141013.html	理解 協働 継承 活用	手稲区 地域振興課
環境教育	緑の絵コンクール	(公財)札幌市公園緑化協会との共催による事業として、市内の小・中学生を対象に自然の大切さや緑化に関する意識の高揚を図ることを目的に実施。(応募総数33校1,007点) http://sapporo-park.or.jp/kikin/	理解 協働 継承 活用	環境局 みどりの推進課
	緑と花のフォトコンテスト	(公財)札幌市公園緑化協会が主催し、札幌市内の公園・緑地で撮影した、緑と花の魅力、美しさ、公園でのひととき、自然とのふれあいなどを表現した写真作品を募集。(応募総数151名608点) http://sapporo-park.or.jp/kikin/	理解 協働 継承 活用	環境局 みどりの推進課
	水辺の活動発表会	河川などの水辺での水環境保全に係る活動の輪の拡大を図ることを目的に、町内会・企業・ボランティア団体などが、札幌市内のふれあいなどを実施した写真作品を募集。(応募者26名) http://www.city.sapporo.jp/kankyo/mizu_kankyo/katsudou/26kekka.html	理解 協働 継承 活用	環境局 環境対策課 建設局 河川事業課
	札幌の水辺の生物の飼育展示	豊平川さけ科学館において、多種の淡水魚、甲殻類、両生類等を水槽で飼育展示するとともにそれぞれの種を解説し、生態等について普及啓発を実施。 http://www.sapporo-park.or.jp/sake/	理解 協働 継承 活用	環境局 みどりの管理課
	外来生物の飼育展示	豊平川さけ科学館において、外来生物を飼育展示し解説することにより、外来種が水辺の環境や在来生物にもたらす弊害について啓発を図った。 http://www.sapporo-park.or.jp/sake/	理解 協働 継承 活用	環境局 みどりの管理課
	河川事業に関するパネル展の開催	河川事業等を紹介するパネル展を実施する際に、川にすむ生き物等についても紹介。 http://www.city.sapporo.jp/kensetsu/kasen/panel/panel.html	理解 協働 継承 活用	建設局 河川事業課
	アイヌ文化交流センター運営事業	自然の恵みに感謝し、共存しながら暮らしていたアイヌ民族の伝統文化や自然観を屋内外の様々な展示物などで紹介。 http://www.city.sapporo.jp/shimin/pirka-kotan/	理解 協働 継承 活用	市民まちづくり局 アイヌ施策課
	札幌市環境副教材	札幌市内の小学生を対象に、環境教育の推進を図ることを目的として「札幌市環境副教材」を作成し、札幌市内の小・中学校(新1・3・5年生)へ配付。副教材には、自然や動植物とふれあうことの大切さ等を記載。 http://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/material/	理解 協働 継承 活用	環境局 環境計画課
	校外学習用バスの貸出	環境教育の推進のため、市立の小・中学校を対象に、市内の清掃工場やごみ処理場、上下水道施設等環境関連施設見学用バスの無料貸出を実施。校外学習の参考となる12のモデルコースを用意しており、この中に円山動物園や豊平川さけ科学館で学ぶ「生物多様性について学ぶコース」等を設定。 http://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/bus-rent/	理解 協働 継承 活用	環境局 環境計画課
	環境教育へのクリック募金	環境保全活動に取り組む企業から寄附を募り、市内の小・中学校へ「水生き物観察セット」、「LED・蛍光・白熱球比較実験器」などの生物多様性保全を含む環境教育に関する教材を寄贈。 https://www.kankyo.sl-plaza.jp/bokin/	理解 協働 継承 活用	環境局 環境計画課
	札幌市環境プラザ運営事業	札幌市環境プラザにおいて、展示物を利用した環境教育の推進をはじめ、環境に関する講座等や環境相談を開催・実施。また、市民の自主的な環境学習を支援するため、「環境保全アドバイザー」や「環境教育リーダー」を派遣。 http://www.kankyo.sl-plaza.jp/	理解 協働 継承 活用	環境局 環境計画課
	環境広場さっぽろ	未来の地球とエネルギーを考える総合環境イベントとして、「創ろう! ECOな街さっぽろ」をテーマに開催。産学官民が環境配慮の取組を発信することで、環境技術や商品、サービス等の普及を図るとともに、来場者1人ひとりに対して地球環境を守るための行動の促進を図った。(来場者数25,103人) http://kankyo-hiroba-sapporo.jp/	理解 協働 継承 活用	環境局 環境計画課
	第38回企画展「北のスマイル 日本固有のスマイル-植物画展-」展および子どもワークショップ「植物を描こう」の実施	博物館活動センターにて、札幌を含む北海道のスマイル20種の多様性、分布の特徴について、植物画で伝える展示および子どもワークショップ「植物を描こう」の実施。(市民による企画)	理解 協働 継承 活用	観光文化局 市民文化課
	さっぽろ市民カレッジ	さっぽろ市民カレッジにおいて生物多様性をテーマにした「自然観察シリーズ」6講座を実施。(受講者87名) ●ツバチがつかるサボロ ●おいしいエゾシカ ●初めてのバードウォッチング ●藻岩山の森林と関わるきのこたち 他 https://chieria.slp.or.jp/seminar/catalog/default.php	理解 協働 継承 活用	教育委員会 生涯学習推進課
	さっぽろエコスクール宣言「さっぽろって環境ウイーク」	エコスクール宣言をした全ての市立幼稚園・学校が、「環境首都・札幌」の宣言日である6月25日の前後2週間において「エコアクション」として環境に関する取組を行い、札幌市の幼児・児童・生徒の環境を守り育てようとする態度を育むとともに、その取組を教育委員会ホームページ上で公表することで、市民に対し情報を提供。 https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/sidou/sappororashinshuisshinziyou.html	理解 協働 継承 活用	教育委員会 教育課程担当課
	CISEネットワークサイエンステリング「サケクイズ」「ヒグマクイズ」「恐竜クイズ」	中央図書館において、「CISEネットワーク」(札幌圏の社会教育機関ネットワーク)が推進する実物科学教育の一環として、小学生を対象に、図書館資料や実物教材(トランクキット)を使用した調べ学習を通して、サケ、ヒグマ、恐竜の生態を学ぶ講座を実施。	理解 協働 継承 活用	教育委員会 利用サービス課
実践! エゾシカ皮なめし探究会	農林業被害が社会問題になっているエゾシカの有効活用について学び、家庭でも実践可能な皮なめしの方法を参加者とともに考察・探究した。(市民団体による企画・共催)	理解 協働 継承 活用	観光文化局 市民文化課	
環境にやさしいまちづくり支援事業	●コキッス・プログラム:川や公園等での自然体験教室(40回、参加者2,624人) ●西区環境まちづくりリーダー講習会:自然活動の指導を行う人材の養成講座(3回、参加者52人) ●エトク映画会:環境についての講演と映画上映会(参加者309人) ●使用済み廃食油の独自回収(17団体、4,845リットル回収) ●コミュニティFM「三角山放送局」:地域情報誌「ウォーク」等を用いたの広報活動 http://www.city.sapporo.jp/nishi/machizukuri/kankyo-kyogikai/top.html	理解 協働 継承 活用	西区 地域振興課	
リードをつないで楽しくお散歩キャンペーン	公園の場所での犬の放し飼いをなくすため、「リードをつないで楽しくお散歩キャンペーン」を実施。併せて、公園お散歩講座として、大規模公園にて飼犬参加型のマナー教室を実施。	理解 協働 継承 活用	保健福祉局 動物管理センター	
動物愛護フェスティバル	動物愛護の精神及び適正飼育の普及啓発を図るとともに、動物と触れ合うことの楽しさを知ってもらうため、一般社団法人札幌市小動物獣医師会との共催で、ポスターやパネルの展示、クイズラリー、体験型イベント等を実施。 http://www.city.sapporo.jp/inuneko/event/aigo_syukan2014.html	理解 協働 継承 活用	保健福祉局 動物管理センター	
どうぶつあいご教室	近年、様々な事情により子どもたちが動物と触れ合う機会が少なくなっていることから、市内の幼稚園と保育園を対象に、公益社団法人日本愛玩動物協会北海道支部の協力を得て、犬との接し方についての講義などを実施。	理解 協働 継承 活用	保健福祉局 動物管理センター	
環境教育プログラムの実施	円山動物園基本構想の基本理念「人と動物と環境の絆をつくる動物園」に基づき、「札幌の環境教育の拠点」として事業を展開。実施。 ●感動体験型展示(ドキドキ体験)の実施 ●森の散策タイム・ビオトープガイドツアーの実施 ●円山レッドデータ(円山動物園が飼育・展示する動物のうち、現在絶滅が危惧される動物のデータ集)の編纂 他 http://www.city.sapporo.jp/zoo/	理解 協働 継承 活用	環境局 飼育展示課	
生物多様性保全事業	円山動物園において、都市の身近な生き物について知るため、観察会・学習会を実施。 ●コウモリ調査・観察会 ●CISEサケテリング ●CISEヒグマテリング ●CISEワニと恐竜テリング ●冬の野鳥観察会 http://www.city.sapporo.jp/zoo/	理解 協働 継承 活用	環境局 飼育展示課	
地産地消	「さっぽろとれたてっこ」に関する取組	札幌市やJAさっぽろ等により構成される札幌市農業振興協議会の事業として、「さっぽろとれたてっこ」に関する取組を実施。パンフレットの配布やパネル展示、野菜料理講習会の開催等を通じて、札幌市内の生産者や消費者に対し「さっぽろとれたてっこ」への参加や消費拡大を図った。 http://www.city.sapporo.jp/keizai/nogyo/toretate/	理解 協働 継承 活用	経済局 農業支援センター
	キッズ・シェフ	子どもたちが、自ら収穫した野菜を使いスープカレーを作ることで、地元で採れる旬な野菜の美味しさを体験し、地産地消や食べ物の大切さについて学んだ。(10組22人参加)	理解 協働 継承 活用	西区 地域振興課
ごみ減量	生ごみ堆肥化支援事業	地域ぐるみでの取組みを促すための講座を開催することで、区民のごみ削減、リサイクルに対する意識の向上を図るとともに、環境への負荷低減を進めた。	理解 協働 継承 活用	北区 地域振興課
省エネルギー	省エネ・節電啓発事業	低炭素社会の実現を目指し、省エネ・節電に対する取組の普及を図るため「節電キャンペーン」や「うちエコ診断」、「家庭の消費電力見える化機器」の貸出等の市民参加型の事業を実施した。 http://www.city.sapporo.jp/kankyo/ondanka/ecolife_shuishin/	理解 協働 継承 活用	環境局 環境計画課
	環境配慮型認可保育所(エコ保育園)の整備	認可保育所等の新築・改築時に、太陽光発電などの環境に配慮した設備を設置し、二酸化炭素排出削減や資源の有効活用を図った。また、施設利用者及び地域社会に対し快適な生活環境を提供する保育所づくりを推進するとともに、保育所入所児童への環境保全に対する意識づけを図った。	理解 協働 継承 活用	子ども未来局 施設運営課
	エコドライブ活動定着推進事業	自動車から排出される二酸化炭素の低減を目的に、運転シミュレーターやパンフレットを用いた市民への啓発活動や、運転診断機材の貸出しや講習会の開催により、事業者のエコドライブ活動の支援を実施。 http://www.city.sapporo.jp/kankyo/zidouya_kankyo/ecodrive.html	理解 協働 継承 活用	環境局 環境計画課
	小中学生向けエコライフレポート	子どもたちが各家庭における節電の声かけ役となり、節電の取組を推進するため、家庭内で身近にできる節電の取組チェック表を配付し、子どもたちの節電に対する意識を高めた。 http://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/ecolifereport/ecolifereport.html	理解 協働 継承 活用	環境局 環境計画課
	環境マネジメントシステム(EMS)の運用	消費エネルギーの削減や環境に配慮した製品を積極的に調達するグリーン購入の推進など、事業の実施に伴い発生する環境負荷の低減を図った。 http://www.city.sapporo.jp/kankyo/management/ems_torikumi/shiyakusho.html	理解 協働 継承 活用	全庁

企業の  
みなさま

団体の  
みなさま

# 生物多様性 さっぽろ応援宣言 しませんか？

札幌市では、「生物多様性さっぽろ応援宣言企業・団体」を募集しています。  
宣言方法は、事業活動や団体の取組の中で、生物多様性に配慮していること、  
生物多様性を守るために行っていることを宣言項目から選ぶだけ。  
宣言をしていただいたみなさんの取組は、札幌市がPRします。  
応援宣言で、みなさんの取組をアピールしてみませんか？

## 対象は？

札幌市内で事業活動を行っている企業と札幌市内で活動している団体が対象です。

## 手数料は？

無料です

## 宣言するメリットは？

- 生物多様性さっぽろ応援宣言企業・団体の登録証がもらえます。
- 札幌市のホームページやイベントを通じて、取組のPRができます。
- 宣言制度のロゴマークを名刺や印刷物、ホームページなどに使うことで、取組のPRができます。
- 取組のPRにより、消費者の商品・サービスの優先的な利用や団体会員の増加などが期待できます。

## 宣言する方法は？

1 宣言内容について、宣言シートの宣言項目から選ぶか、オリジナル宣言を記載します。



2 郵送、FAX、Eメール、インターネットの入力フォームで宣言シートを送れば、手続きは完了。

### 【提出先】

郵送：〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目  
札幌市環境局環境共生推進担当課  
(平成28年4月から環境管理担当課に名称変更)

FAX：011-218-5108

Eメール：biodiversity@city.sapporo.jp

インターネット：http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/sengen.html

3 後日、札幌市から登録証をお送りします。



左が宣言制度の  
ロゴマーク  
なんだっこー



札幌市の生物多様性  
PRキャラクター  
カッコー先生

## 生物多様性さっぽろ応援宣言企業・団体(49企業・10団体)【平成28年1月20日現在、五十音順】

### 【企業】

- 赤帽田中館運送店
- 株式会社あつまや質店
- 株式会社アドバコム
- 株式会社アミノアップ化学
- イオン北海道株式会社
- 株式会社エコ・サッポロ
- 株式会社エコニクス
- 株式会社カタデン
- クボタ環境サービス株式会社北海道支店
- 株式会社建設技術研究所 北海道支店
- 株式会社耕電設 札幌支店
- 株式会社小林サイクル商会(オニキス札幌中央)
- 株式会社サジェコ
- (公財)札幌市公園緑化協会
- 札幌大同印刷株式会社
- 株式会社札幌ドーム
- 株式会社札幌リフォームセンター
- 三兼建設工業株式会社
- 正電テクノ
- 鈴木総合住設
- 生活協同組合コープさっぽろ
- 株式会社ソフトガーデン
- 株式会社大伸
- 大同舗道株式会社
- 株式会社長大
- 株式会社ディスプレイセンター北創
- 株式会社東亜エンジニアリング
- 西松建設株式会社札幌支店
- 日本信号株式会社北海道支店
- 日本航空株式会社
- 富士ゼロックスシステムサービス株式会社北海道支店
- 株式会社ホクスイ設計コンサル
- 株式会社北洋銀行

### 【団体】

- (NPO) 札幌歩こう会
- サッポロさとらんど
- 札幌市立定山溪中学校
- 札幌南ふゆみずたんぼの会
- 札幌ワイルドサーモンプロジェクト
- 北海道希少生物調査会
- (公財)北海道自然体験学習財団
- 北海道シマフクロウの会
- 篠舞国蝶オオムラサキ保存会
- (NPO) 藻岩山きのご観察会

※現在の生物多様性さっぽろ応援宣言企業・団体については、札幌市公式ホームページをご覧ください。

## 編集・発行

札幌市環境局環境都市推進部環境共生推進担当課(平成28年4月から環境管理担当課に名称変更)  
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目 札幌市役所本庁舎12階  
Tel:011-211-2879 Fax:011-218-5108

http://www.city.sapporo.jp/kankyo/biodiversity/ 札幌市 生物多様性の保全 検索



この冊紙は  
印刷用の紙に  
リサイクルできます。